



T-Bizは大学発ベンチャーや大学と連携する企業の皆様をサポートする
中小機構が運営するインキュベーション(起業家育成)施設です

2024年は、スタートアップ業界にとって挑戦と革新が入り交じる一年でした。全体的な資金調達額は、2023年から減少傾向にあるものの、生成AI分野への注目は続き、「Sakana AI」が大規模な資金調達を成功させたことが大きな話題となりました。また、特定の分野や企業に資金が集まり、業界の動向は多様化しています。このような経済的な逆風の中でも、スタートアップは新たな価値を模索し、社会課題の解決に挑戦を続けています。2025年以降には資金調達環境の改善が期待され、スタートアップが持続的に成長できるよう、支援体制の充実がますます重要になると考えています。スタートアップが柔軟な発想でイノベーションを生み出し、社会の変革を牽引する存在であり続けることを願い、2025年も引き続き新しい挑戦を支援してまいります。

東北大学連携ビジネスインキュベータ 【T-Biz】 チーフインキュベーションマネージャー(CIM) 松村 伸一

J-Startup TOHOKU 3次選定

東北経済産業局と仙台市が連携し、飛躍的な成長可能性を秘めた東北地域のスタートアップ支援を目的として2020年7月に立ち上げられた『J-Startup TOHOKU』の3次選定が行われ、新たに6社が選定されました。T-Biz入居企業からは、AI画像解析のテクノロジーにより放射線治療の可能性拡大と更なる普及を目指している**アイラト**が選定され、10/30に開催された選定式と交流イベントに角谷代表取締役が参加、ピッチ登壇しました。また、**ファイトケミカルプロダクツ**の加藤CEOが、J-Startup TOHOKU 選定の先輩企業を代表してお祝いのスピーチに登壇しました。



J-Startup TOHOKU 2024でのアイラト角谷代表取締役ピッチ



今回の選定によりJ-Startup TOHOKU選定企業数は合計43社(24年11月現在)となりますが、現在のT-Biz入居企業からの選定企業は下記の8社となります。選定企業に対しては、補助金等支援制度の優遇措置や、政府調達における入札機会の拡大、企業や支援機関等とのネットワーク構築の機会提供、地域サポーターズによる個別支援等、今後の更なる成長に向けた支援が行われる予定です。

https://www.j-startup.go.jp/news/news_240920.html

■ J-Startup



AI SILK®

エーアイシルク
<http://www.ai-silk.com/>



ボールウェーブ
<https://www.ballwave.jp/>

■ J-Startup TOHOKU



スーパーナノデザイン
<https://www.super-nano.com/>



ファイトケミカルプロダクツ
<https://phytochem-products.co.jp/>



ライフラボラトリー
<http://www.lifelabs.co.jp/>



レボルカ
<https://www.revolka.com/>



TBA
<https://www.t-bioarray.com/>



Blue Practice
<https://bluepractice.co.jp/>

STORYLINE

ストーリーライン
<https://storyline.co.jp/>

AiRato

アイラト
<https://airato.jp/>

主要メディア掲載

■ 2024年10月31日付 河北新報 **ファイトケミカルプロダクツ**
『昭和産業と業務提携 調達額 5億4000万円に』
<https://kahoku.news/articles/20241030khn000071.html>



■ 2024年11月29日付 日本経済新聞 **ボールウェーブ**
『東北大発の半導体関連新興、資金調達相次ぐ 支援策充実 世界最高水準研究の系譜 地域経済けん引期待』
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC2042R0Q4A121C200000/>



2024年12月 2日付 日刊工業新聞 **ボールウェーブ**
『航空宇宙ビジネス・フロンティアへの挑戦(66) ボールウェーブ 超小型クロマトグラフィー 宇宙滞在 手軽に安全管理』
<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00732795>

■ 2024年10月 3日 日経バイオテック **アイラト** **AiRato**
ベンチャー探訪『アイラト、5~6時間かかる放射線照射計画作成を10分に短縮するAIソフトを開発』
<https://bio.nikkeibp.co.jp/atcl/column/16/021500017/100200347/>

■ 2024年11月21日付 日本経済新聞 **TBA**
『東北インパクトファンド第1号投資、盛岡と仙台の2社』
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC2024U0Q4A121C200000/>

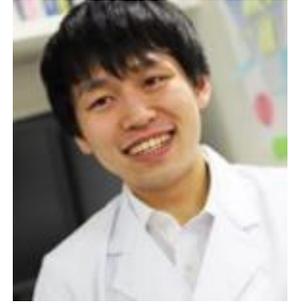


■ 2024年11月23日 産経新聞 **ストーリーライン**
近ごろ都に流行るもの『「カフェインコントロール」で健康に コーヒーの新選択肢、時間帯や目的別に』
<https://www.sankei.com/article/20241123-NH40E2HTIJMQ5JBZQWYG6NA2CY/>

STORYLINE

T-Biz入居企業ご紹介

アイラト株式会社
AiRato. Inc



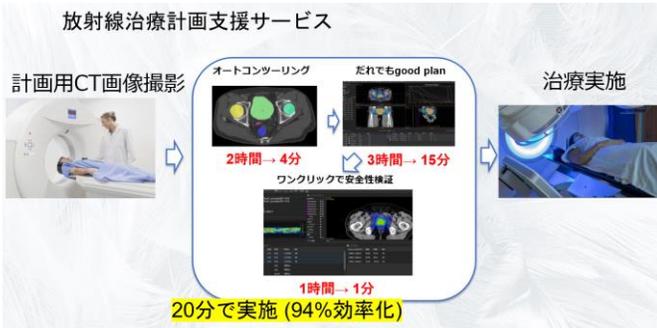
代表取締役 CEO
木村 祐利 氏

AI画像解析のテクノロジーを活用し、 全世界のがん患者を放射線治療で救う

『AI放射線治療支援サービス』とは？

がんの三大治療法は、手術、投薬、そして放射線治療です。放射線治療は、患者負担が極めて少ないということで超高齢化社会におけるがん治療法として重要性はますます高まっています。私たちアイラトは、「**放射線治療ですべてのがん患者を救う**」をミッションにAIを用いたがんの放射線治療計画支援ソフトウェアの社会実装を進めています。

その放射線による最先端の治療法が強度変調放射線治療(IMRT: Intensity Modulated Radiation Therapy)です。IMRTとは腫瘍のみに放射線を集中して照射することにより合併症を軽減しながら治療率を高める革新的治療法です。治療成績は手術とほぼ同等に改善しており、近年急速に普及が進んでいます。しかし、こんな優れた放射線治療法ですが、治療現場には、ふたつの大きな課題があります。①経験不足による治療成績の低下と、②医療スタッフの過重労働です。この課題により、IMRTをすべての必要な患者さんに対して実施できず、残念ながら救うことのできない患者さんが発生してしまっています。そこで我々は、これらの課題をAIで解決する「放射線治療支援サービス」を開発・事業化しました。



本サービスは、腫瘍や正常組織の輪郭抽出、治療計画立案、安全性検証を全自動で行い、従来6時間かかっていた業務時間を20分に短縮し、高品質で安全な放射線治療計画を提供するものです。

今後の目標と展望は？

2025年には1号機を医療機器としてローンチすることを目標に活動しています。まずは日本中の放射線治療を行っている施設すべてにこのサービスを導入することで、日本全国の放射線治療レベルのボトムアップを図りたいと考えています。そして医師不足の地方においても都市部の大病院と同じ高精度の放射線治療が容易に受けられる社会になることを目指しています。

その後は、海外進出を図る計画です。現在、日本での放射線治療は米国や欧米諸国に比べあまり盛んに実施されていないのが現状ですが、日本中の病院の英知を集めた放射線治療AIソフトウェアを開発することで、日本を世界で最も放射線治療の進んだ国にし、世界をリードしていけるようにして行くことが目標です。



駐日インド大使館でスピーチする
角谷代表取締役

「Japan as No.1, leading the World in radiotherapy」

日本の優れた放射線治療の知識を集約させ、世界の放射線治療をリードしていくという意味を込めたこのスローガンを掲げ、弊社のプロダクトで世界の放射線治療をリードして行きたいと考えています。

T-Biz入居のメリットは？

我々同様に多くの東北大学発スタートアップが入居しており、抱えている課題などを相談しやすいという環境があります。また、宮城県や仙台市からの賃料補助があり、金銭面でもメリットが大きいです。

仙台駅からのアクセスも非常によく、市内だけでなく県内外からの来訪にも非常に便利な立地です。また、周囲は自然も多いため、東北の豊かな四季の変化を楽しめることもメリットであると思っています。

《企業プロフィール》



「放射線治療ですべてのがん患者を救う」をミッションに、東北大学大学院医学系研究科で開発された放射線治療計画のAI画像解析技術をもとに2022年3月に設立。独自のAI画像解析によるがん治療支援プロダクトは、医師の経験不足を補い、過重労働の改善を目指しており、この技術によって最先端放射線治療の普及が大きく進むと期待されている。2024年9月、その事業理念・ミッションと新規性・独創性が高く評価され、J-Startup TOHOKU企業に選定された。

アイラト株式会社

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40

東北大学連携ビジネスインキュベータ 402号室

<https://airato.jp/>



インド・日本パートナーシップ宮城『Miyagi Day』にT-Bizより2社参加



(写真提供：宮城県) 左から3人目より
TBA清水GM、Sibi George駐日インド大使
村井宮城県知事、アイラト角谷代表取締役

■宮城県が推し進める「みやぎ国際戦略プラン」の一環として、インドとの経済交流を深める**インド・日本パートナーシップ宮城『Miyagi Day』**が、駐日インド大使館で11/14に開催され、宮城県側からは村井宮城県知事・県議会議長他が出席、また、これからのインドに必要なビジネスを展開する県内スタートアップとして、遺伝子検査の新しいカタチを提案する**TBA**と、AIを使った放射線治療計画支援サービスを展開する**アイラト**が招待され、会場で事業紹介スピーチをいたしました。「現地企業との提携を目指し、インドの感染症対策に貢献したい」とTBAの清水GMは語り、アイラトの角谷代表取締役も将来のインド進出構想を紹介、両社にとって非常に貴重な機会になりました。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankou/2024india-miyagiday.html>
<https://www.youtube.com/live/ZT4aRjSUOow?t>

展示会出展報告

■超低電力三次元積層型エッジAIチップの**東北マイクロテック**は積極的な展示会参加や学会発表を行い、国を挙げての半導体産業発展への期待に応える活動を行っています。この秋は下記の学会・展示会に参加いたしました。



NSS MIC RTSDの元吉社長(右)

- 『第3回 ネブコンジャパン秋』 9/4～9 幕張メッセ
- 『第1回 九州半導体産業展』 9/25～26 マリンメッセ福岡
- 『3DIC 2024』 9/25～27 仙台国際センター
- 『CEATEC 2024』 10/15～18 幕張メッセ
- 『2024 IEEE NSS MIC RTSD』 10/29～31 タンパ(USA)
- 『MLIS 2024』 11/17～20 マレーシア

<https://www.t-microtec.com/> 

■**TBA**は、10/9～11にパシフィコ横浜で開催の『**Bio Japan 2024**』に中小機構ブースより出展、途上国で話題になっている新商品「iso-PASワーキングカセット」を紹介しました。注目の商品とその技術に多くの来場者が訪れ、活気あるブースとなりました。



Bio Japanの川瀬社長(右)

<https://www.t-bioarray.com/> 

■ボールSAW技術で世界に新たなソリューションを提供している**ボールウェーブ**は、海外ではJETRO現地オフィスの支援を受けて、『**Bio Europe 2024**』11/4～6 ストックホルム(スウェーデン)、『**SEMICON Europa 2024**』11/12～15 ミュンヘン(ドイツ)に出展、国内では12/11～13 東京ビッグサイトでの『**SEMICON Japan 2024**』に出展しています。バイオから半導体産業まで幅広く、微量水分計と超小型ガスクロ「Sylph」を紹介しています。



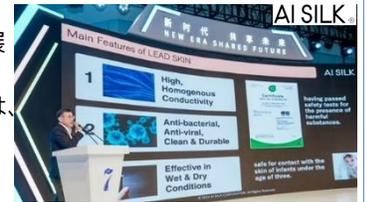
SEMICON Europaの赤尾社長(左)

<https://www.ballwave.jp/> 

■超精密加工技術の**ナルックス**は、10/4～6にパシフィコ横浜で開催された『**JACLaS EXPO 2024**』に出展し、T-Bizが開発中のプラズマミストによる空間除菌技術を紹介しました。大阪・関西万博にも出展するナルックス、万博の出展期間は今年の夏7/8～14となりました。

<https://www.nalux.co.jp/> 

■高機能な導電性繊維「**LEAD SKIN® AIR**」で自由な未来を紡いでいく**エーアイシルク**は、10/15～18に幕張メッセで開催された『**Japan Mobility Show Bizweek 2024**』に出展、シート用タッチセンサーやハンドル用ECGセンサーなど自動車産業向けソリューション製品を展示・紹介しました。11/5～10には、上海で開催された『**中国国際輸入博覧会(CIIE)**』にBMW様のご協力でお出展し、原常務取締役がピッチ登壇しています。「**LEAD SKIN® AIR**」は、海外自動車メーカーからも注目されている未来の技術です。



CIIEのSUピッチに登壇する原常務取締役

<https://www.ai-silk.com/>

■独自の行動解析技術をヘルスケア分野に展開する**ライフラボ**は、宮城県の支援を受け11/11～14にデュッセルドルフ(ドイツ)で開催の『**MEDICA 2024**』(JETROジャパン・パビリオンにて)に出展、病院や介護施設における新しい徘徊検知システムを紹介しました。同社も積極的に海外展開を進めています。



MEDICAで名刺交換するの鈴木社長(右)

<http://www.lifelabs.co.jp/> 

12/2～5に虎ノ門ヒルズで開催の『**第12回 ILS 2024**』には、**ボールウェーブ・エーアイシルク・東北マイクロテック・ファイトケミカルプロダクツ・TBA・Blue Practice**の6社が参加し、大手企業とのマッチングを図りました。

その他、**大武・ルート工業・Blue Practice・レボルカ・アイラト**も学会参加により独自技術・製品のPRを積極的に行っています。

デラウェア州宮城県視察団 T-Biz来訪

■長年、宮城県が姉妹交流を行っているアメリカ合衆国デラウェア州より宮城県視察団が来日、10/29にT-Bizを訪れ、T-Biz施設の視察と入居企業との交流を行いました。デラウェア州は、ニューヨークとワシントンDCのほぼ中間に位置し、それぞれ電車で1時間半という便利な距離にあり、独自の会社法と裁判制度により法人設立に最適な州として知られ、大手化学企業デュポン社の本社がある経済州です。

宮城県庁国際政策課の皆さんに同行いただいたこの視察では、中小機構によるスタートアップ支援とインキュベーション施設の役割やその活動をご紹介、T-Biz入居企業からは、デラウェア州からの訪問団一行の皆様が注目している事業を行う**Blue Practice・ファイトケミカルプロダクツ・ボールウェーブ・ALISys**の4社に事業紹介をいただき大変興味と関心を持っていただきました。

T-Bizでは、この視察が入居企業の皆様の海外展開のきっかけになるよう宮城県関係者の皆様と情報を共有して支援してまいります。

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/report/index.html#20241113>



T-Biz前で、デラウェア州宮城県視察団を囲んで

T-Biz 入居企業情報

■**ボールウェーブ** 10/1に第三者割当増資による資金調達が完了したことを発表しました。
<https://www.ballwave.jp/news/>

■**レボルカ** 10/3、仙台市中小企業融資制度の新事業創出支援融資(スタートアップ創出促進保証)を用いて七十七銀行より資金調達したことを発表しました。
https://www.revolka.com/news/jp_news/corporate/a71

11/5～7にバルセロナ(スペイン)で開催された『PEGS Europe 2024』でポスター発表を行いました。
<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/companylist/report/2024/rvuad100000215b7.html>

■**HKテクノロジー** 10/17～18に福井県産業会館で開催の『北陸技術交流テクノフェア 2024』に出展しました。
<https://www.hk-tech.co.jp/>

■**三幸** ダイヤモンドオンライン ビジネスアングルに奥野社長が登場、事業紹介を実施。
<https://diamond.jp/articles/-/350473>

■**MK PLUS** プロジェクトが、フランスの「Hello Tomorrow Deep Tech Pioneer」に選出。
<https://mkpl.co.jp/n20241115/>

■**ファイトケミカルプロダクツ** 10/17開催の、宮城県プロフェッショナル人材戦略拠点が主催する「人材戦略セミナー」に加藤CEOが登壇しました。
<https://miyagi-projinzai.jp/>

■**サウンドウェーブイノベーション** 不整脈治療用医療機器「衝撃波アブレーションカテーテルシステム(SWCS)」に関連する外国出願特許について、中国および香港での特許権を取得しました。
<https://sw-innovation.com/news/info/3556/>

早期アルツハイマー病に対する低出力パルス波超音波(LIPUS)治療の検証的試験において目標登録症例数(220症例)達成を発表。
<https://sw-innovation.com/news/press/3624/>

■**アイラト** 10/1新規入居。AIを使った放射線治療計画支援サービスの開発・販売。
<https://airato.jp/>

「仙台スタートアップスタジオ」ホームページに、角谷代表取締役のインタビュー記事が掲載されました。
<https://sendaistartupstudio.com/interview/interview-712/>
第27回「七十七ニュービジネス助成金」を受賞しました。
<https://www.77bsf.or.jp/award/>

T-Biz 施設ご紹介

充実の設備と恵まれた環境をぜひ一度ご覧ください



研究開発や製品の試作・製造拠点、オフィスとしてご利用いただくタイプの居室

※ P2レベルまで可能(動物実験は不可だが、遺伝子組換え用微生物・魚類の評価飼育までは可能、要相談)



主にオフィスとしてご利用いただくタイプの居室



大人数の会議・セミナー等に使用できるプロジェクト・音響設備完備の共用会議室(1室・予約制)

T-Biz 入居者募集居室ご紹介 (2024年12月末現在)

居室面積や詳しい居室仕様などは下記ホームページをご覧ください、T-Bizにお問い合わせください。

- | | |
|-------------|--|
| ウェットラボ タイプ1 | 現在空室はございません。今後の見通しは直接T-Bizにお問い合わせください。 |
| ウェットラボ タイプ2 | 現在空室はございません。 |
| オフィス | 現在空室はございません。 |

T-Biz アクセスとお問い合わせ先



JR仙台駅からお越しの際は
地下鉄東西線「仙台」駅から
「八木山動物公園」駅行きに乗車(約9分)。
「青葉山」駅下車、南1出口から徒歩約2分。
タクシーをご利用の場合(約15分)は
「東北大学未来科学技術共同研究センター」と
指示してください。その東隣です。



T-Biz 東北大学連携ビジネスインキュベータ

☎022-726-5866

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/>



●中小機構は、新たな一歩を踏み出そうとしている経営者をハードとソフトの両面からサポートします。

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/index.html

<p>インキュベーション</p> <p>常駐する専門家が早期事業化を一貫してサポート</p>	<p>起業相談支援情報</p> <p>AIを活用した経営相談 J-Net21による起業・創業に役立つ情報サポート</p>	<p>アクセラレーション</p> <p>資金調達や事業提携に向けた伴走型のアクセラレーター支援</p>	<p>ハンズオン支援～専門家派遣～</p> <p>個別の経営課題に応じて豊富な経験と実績を持つ専門家チームを派遣</p>	<p>ビジネスマッチング</p> <p>展示会・商談会や「J-GoodTech」サイトで販路開拓をサポート</p>	<p>創業支援拠点</p> <p>TIP*S・BusiNest 交流や学びの場を提供 実践の第一歩をサポート</p>	<p>Be a Great Small. 中小機構</p> <p>中小企業基盤整備機構 東北本部</p>
---	---	--	---	--	---	---